

評価の観点と評価規準例 1年(1)すたあとぶつく

単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
1 かずと すうじ	A	10までの数について、よみ方やかき方、数系列を深く理解し、手際よく数のよみかきや大小比較ができる。	ものの集まりをとらえ、数図ブロック・数詞・数を対応させて考えたり表現したりしている。	10までの数についてのいろいろな活動に進んで取り組み、数のよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	10までの数について、よみ方やかき方、数系列を理解し、数のよみかきや大小比較ができる。	ものの集まりをとらえ、数図ブロック・数詞・数を対応させて考えている。	10までの数についてのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
2 なんばんめ	A	順序や位置の表し方を深く理解し、手際よく順序や位置を表すことができる。	順序数か集合数かを適切に判断したり表現したりしている。	順序や位置についてのいろいろな活動に進んで取り組み、順序や位置の表し方のよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	順序や位置の表し方を理解し、順序や位置を表すことができる。	順序数か集合数かを適切に判断している。	順序や位置についてのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
3 いくつと いくつ	A	10までの数の構成について深く理解し、手際よく数を合成・分解したり、10の補数を見つけたりすることができる。	数の合成・分解の活動を通して、1つの数をほかの数と関連づけてとらえたり表現したりしている。	数の合成・分解についてのいろいろな活動に進んで取り組み、数の構成のよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	10までの数の構成について深く理解し、数を合成・分解したり、10の補数を見つけたりすることができる。	数の合成・分解の活動を通して、1つの数をほかの数と関連づけてとらえている。	数の合成・分解についてのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
4 いろいろな かたち	A	身のまわりにある立体の形の観察を通して形の特徴をとらえ、手際よくなかま分けができる。	立体の形の特徴に着目して、なかま分けの仕方を考えたり、気づいた形の特徴を積み木遊びや絵描き遊びにいかしたりしている。	立体の形についてのいろいろな活動に進んで取り組み、形の特徴に着目することのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	身のまわりにある立体の形の観察を通して形の特徴をとらえ、なかま分けができる。	立体の形の特徴に着目して、なかま分けの仕方を考えたり、積み木遊びや絵描き遊びに取り組みたりしている。	立体の形についてのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。

評価の観点と評価規準例 1年(2)

単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
5 ふえたり へったり	A	数量が増減の様子をとらえ、「ふえる」「へる」ということばと結び付けて手際よく数図ブロックを操作できる。	数量の増減に着目して、増減の様子を「ふえる」「へる」ということばや数図ブロックを使って考えたり、わかりやすく表現したりしている。	数量の増減についての活動に進んで取り組み、ことばや数図ブロックで表現するよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	数量が増減の様子をとらえ、「ふえる」「へる」ということばと結び付けて数図ブロックを操作できる。	数量の増減に着目して、増減の様子を「ふえる」「へる」ということばや数図ブロックを使って考えている。	数量の増減についての活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
6 たしざん(1)	A	たし算の意味(合併、増加)を深く理解し、手際よく式にかいたり(1位数)+(1位数) ≤ 10 の計算をしたりすることができる。	数図ブロックの操作と結びつけて、たし算の意味(合併、増加)や計算の仕方を考え、そのよさに触れながら説明したりしている。	たし算に進んで取り組み、合併や増加の場面はたし算の式に表せることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	たし算の意味(合併、増加)を理解し、手式にかいたり(1位数)+(1位数) ≤ 10 の計算をしたりすることができる。	数図ブロックの操作と結びつけて、たし算の意味(合併、増加)や計算の仕方を考えたり、説明したりしている。	たし算に進んで取り組み、合併や増加の場面はたし算の式に表せることに気づいている。
7 ひきざん(1)	A	ひき算の意味(求残、求差、求部分)を深く理解し、手際よく式にかいたり(10以下の数)-1桁の計算をしたりすることができる。	数図ブロックの操作と結びつけて、ひき算の意味(求残、求差、求部分)や計算の仕方を考え、そのよさに触れながら説明したりしている。	ひき算に進んで取り組み、求残や求差の場面はひき算の式に表せることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	ひき算の意味(求残、求差、求部分)を理解し、式にかいたり(10以下の数)-1桁の計算をしたりすることができる。	数図ブロックの操作と結びつけて、ひき算の意味(求残、求差、求部分)や計算の仕方を考えたり、説明したりしている。	ひき算に進んで取り組み、求残や求差の場面はひき算の式に表せることに気づいている。
8 かずしらべ	A	ものの個数を簡単な絵や図を使って整理する方法を深く理解し、手際よく絵や図を使って整理したり、それらをよみとったりすることができる。	大きさを捨象してももの個数に着目し、絵や図を使って整理する方法を考えたり、整理したもものから特徴をよみとったりしている。	ものの個数を絵や図を使って整理することに進んで取り組み、ものの個数をわかりやすく表すことのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	ものの個数を簡単な絵や図を使って整理する方法を理解し、絵や図を使って整理したり、それらをよみとったりすることができる。	大きさを捨象してももの個数に着目し、絵や図を使って整理する方法を考えたり、整理したもものから特徴をよみとったりしている。	ものの個数を絵や図を使って整理することに進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
9 10より おおきいかず	A	20までの数について、よみ方や表し方、数系列を深く理解し、手際よく数のよみかきや大小比較、簡単な加減計算ができる。	10といくつという見方を働かせて、20までの数をとらえたり、簡単な加減計算の仕方を考えたり、そのよさに触れながら説明したりしている。	10をこえる数のよみかきや加減計算に進んで取り組み、10といくつという見方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	20までの数について、よみ方や表し方、数系列を理解し、数のよみかきや大小比較、簡単な加減計算ができる。	10といくつという見方を働かせて、20までの数をとらえたり、簡単な加減計算の仕方を考えたり、説明したりしている。	10をこえる数のよみかきや加減計算に進んで取り組み、10といくつという見方のよさに気づいている。
10 なんじ なんじはん	A	何時、何時半の時刻のよみ方や表し方を深く理解し、手際よく何時、何時半の時刻をよんだりつくったりすることができる。	長針、短針が示す目盛りに着目して、時刻を判断し、そのよさに触れながら説明している。	時計をよむことに進んで取り組み、長針、短針が示す目盛りに着目するよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	何時、何時半の時刻のよみ方や表し方を理解し、何時、何時半の時刻をよんだりつくったりすることができる。	長針、短針が示す目盛りに着目して、時刻を判断したり、説明したりしている。	時計をよむことに進んで取り組み、長針、短針が示す目盛りに着目するよさに気づいている。
11 おおきさくらべ(1)	A	長さやかさの概念や大きさの比べ方を深く理解し、手際よく長さやかさを比べることができる。	色や材質を捨象して長さやかさをとらえ、直接比較や間接比較、任意単位を使った比較の仕方を考え、そのよさに触れながら説明している。	大きさくらべのいろいろな活動に進んで取り組み、単位となるものを使うことで長さやかさを数で表せるよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	長さやかさの概念や大きさの比べ方を理解し、長さやかさを比べることができる。	色や材質を捨象して長さやかさをとらえ、直接比較や間接比較、任意単位を使った比較の仕方を考えたり、説明したりしている。	大きさくらべのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
12 3つのかずのけいさん	A	3つの数をたしたりひいたりする場合も1つの式に表せることを深く理解し、手際よく式にかいたり計算したりすることができる。	3つの数をたしたりひいたりする場合について、式や計算の仕方を考え、そのよさに触れながら説明したりしている。	3つの数の計算に進んで取り組み、1つの式に表して計算するよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	3つの数をたしたりひいたりする場合も1つの式に表せることを理解し、式にかいたり計算したりすることができる。	3つの数をたしたりひいたりする場合について、式や計算の仕方を考えたり、説明したりしている。	3つの数の計算に進んで取り組み、1つの式に表して計算するよさに気づいている。

単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
13 たしざん(2)	A	(1位数)+(1位数)で繰り上がりのあるたし算の計算の仕方を深く理解し、手際よく計算できる。	10の補数に着目して、繰り上がりのあるたし算の仕方を考え、そのよさに触れながら説明している。	繰り上がりのあるたし算に進んで取り組み、10をつくって計算するよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	(1位数)+(1位数)で繰り上がりのあるたし算の計算の仕方を理解し、計算できる。	10の補数に着目して、繰り上がりのあるたし算の仕方を考えたり、説明したりしている。	繰り上がりのあるたし算に進んで取り組み、10をつくって計算するよさに気づいている。
14 かたちづくり	A	色板や棒などでいろいろな形が構成されていることを深く理解し、手際よくいろいろな形をつくることができる。	平面の形の特徴に着目して、色板や棒などの並べ方を考え、できた形の特徴に触れながら説明したりしている。	平面の形についてのいろいろな活動に進んで取り組み、形の特徴に着目することのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	色板や棒などでいろいろな形が構成されていることを理解し、いろいろな形をつくることができる。	平面の形の特徴に着目して、色板や棒などの並べ方を考えたり、説明したりしている。	平面の形についてのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
15 ひきざん(2)	A	(十何)-(1位数)で繰り下がりのあるひき算の計算の仕方を深く理解し、手際よく計算できる。	被減数を10といくつに分解して、繰り下がりのあるひき算の仕方を考え、そのよさに触れながら明している。	繰り下がりのあるひき算に進んで取り組み、10といくつという見方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	(十何)-(1位数)で繰り下がりのあるひき算の計算の仕方を理解し、計算できる。	被減数を10といくつに分解して、繰り下がりのあるひき算の仕方を考えたり、説明したりしている。	繰り下がりのあるひき算に進んで取り組み、10といくつという見方のよさに気づいている。
16 0の たしざんとひきざん	A	0がある場合にもたし算やひき算の式に表せることを深く理解し、手際よく式にかいたり計算したりすることができる。	0がある場合について、式や計算の仕方を考え、そのよさに触れながら説明したりしている。	0がある場合の計算に進んで取り組み、0がある場合も式に表して計算できるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	0がある場合にもたし算やひき算の式に表せることを理解し、式にかいたり計算したりすることができる。	0がある場合について、式や計算の仕方を考えたり、説明したりしている。	0がある場合の計算に進んで取り組み、0がある場合も式に表して計算できるよさに気づいている。
17 ものと ひとつの かず	A	人の数とものの数の対応や順序について深く理解し、手際よく絵や図に表したり、数量を求めたりすることができる。	人の数とものの数の対応や順序を、絵や図に表して考え、そのよさに触れながら説明している。	数量の対応や順序の問題に進んで取り組み、絵や図を使って考えることよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	人の数とものの数の対応や順序について理解し、絵や図に表したり、数量を求めたりすることができる。	人の数とものの数の対応や順序を、絵や図に表して考えたり、説明したりしている。	数量の対応や順序の問題に進んで取り組み、絵や図を使って考えることよさに気づいている。
●わくわくぶろぐらみんぐ	A	ものの位置の表し方を深く理解し、手際よくものの位置を表したり、目的の位置へ進むプログラムをつくったりすることができる。	ものの位置に着目して、目的の位置へ進むプログラムのつくり方を考え、そのよさに触れながら説明したりしている。	ものの位置についてのプログラミングに進んで取り組み、位置の表し方のよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	ものの位置の表し方を理解し、ものの位置を表したり、目的の場所へ進むプログラムをつくったりすることができる。	ものの位置に着目して、目的の位置へ進むプログラムのつくり方を考えたり、説明したりしている。	ものの位置についてのプログラミングに進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
18 大きい かず	A	100までの数や100を少しこえる数について、数の構成や系列、大小関係を深く理解し、手際よく数のよみかきや大小比較ができる。	数の構成的な見方を働かせて、数の表し方や大小比較の仕方を考え、そのよさに触れながら説明している。	大きい数についてのいろいろな活動に進んで取り組み、10ずつまとめて数えたり、数直線で数を表したりするよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	100までの数や100を少しこえる数について、数の構成や系列、大小関係を理解し、数のよみかきや大小比較ができる。	数の構成的な見方を働かせて、数の表し方や大小比較の仕方を考えたり、説明したりしている。	大きい数についてのいろいろな活動に進んで取り組み、10ずつまとめて数えたり、数直線で数を表したりするよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
19 なんじなんぶん	A	何時何分の時刻のよみ方や表し方を深く理解し、手際よく何時何分の時刻をよんだりつくったりすることができる。	長針、短針が示す目盛りに着目して、時刻を判断し、そのよさに触れながら説明している。	時計をよむことに進んで取り組み、長針、短針が示す目盛りに着目するよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	何時何分の時刻のよみ方や表し方を理解し、何時何分の時刻をよんだりつくったりすることができる。	長針、短針が示す目盛りに着目して、時刻を判断したり、説明したりしている。	時計をよむことに進んで取り組み、長針、短針が示す目盛りに着目するよさに気づいている。
20 おなじ かずずつ	A	「同じかずつ」の意味を深く理解し、手際よくブロックを操作したり、計算をしたりすることができる。	同じ数のまとまりに着目して、ブロックの分け方を考えたり、その特徴に触れながら説明したりしている。	等しく分ける活動に進んで取り組み、分け方の特徴や学ぶ楽しさを感じている。
	B	「同じかずつ」の意味を理解し、ブロックを操作したり、計算をしたりすることができる。	同じ数のまとまりに着目して、ブロックの分け方を考えたり、説明したりしている。	等しく分ける活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。

単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
●たすのかな ひくのかな	A	たし算やひき算が適用できる場面について深く理解し、何算になるかを式やブロックやことばを使って表現することができる。	何算になるかを式やブロックやことばを使って考えたり、わかりやすく説明したりしている。	何算になるかを説明する活動に進んで取り組み、根拠を明らかにするたいせつさや伝えあう楽しさを感じている。
	B	たし算やひき算が適用できる場面について理解し、何算になるかを式やブロックやことばを使って表現することができる。	何算になるかを式やブロックやことばを使って考えたり、説明したりしている。	何算になるかを説明する活動に進んで取り組み、伝えあう楽しさを感じている。
21 100までの かずの けいさん	A	(何十)+(何十)、(何十)+(何)やその逆のひき算の意味や計算の仕方を深く理解し、手際よく計算できる。	数の構成的な見方を働かせて、(何十)+(何十)、(何十)+(何)やその逆のひき算の計算の仕方を考え、そのよさに触れながら説明している。	簡単な場合の2桁の加減に進んで取り組み、数の構成的な見方を働かせて計算できることよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	(何十)+(何十)、(何十)+(何)やその逆のひき算の意味や計算の仕方を理解し、計算できる。	数の構成的な見方を働かせて、(何十)+(何十)、(何十)+(何)やその逆のひき算の計算の仕方を考えたり、説明したりしている。	簡単な場合の2桁の加減に進んで取り組み、数の構成的な見方を働かせて計算できることよさに気づいている。
22 おおい ほう すくない ほう	A	多少の関係のとらえ方を深く理解し、場面にあわせて手際よくブロックを並べたり、式に表して計算したりすることができる。	多少の関係を絵やブロックを使ってとらえ、どんな式になるかを考えたり、その根拠に触れながら説明したりしている。	求大・求小の問題解決に進んで取り組み、多少の関係を絵やブロックを使ってとらえることよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	多少の関係のとらえ方を理解し、場面にあわせてブロックを並べたり、式に表して計算したりすることができる。	多少の関係を絵やブロックを使ってとらえ、どんな式になるかを考えたり、説明したりしている。	求大・求小の問題解決に進んで取り組み、多少の関係を絵やブロックを使ってとらえることよさに気づいている。
23 大きさをくらべ (2)	A	広さの概念や比較の仕方を深く理解し、手際よく広さを比べることができる。	色や材質を捨象して広さをとらえ、直接比較や間接比較、任意単位を使った比較の仕方を考え、そのよさに触れながら説明している。	大きさをくらべのいろいろな活動に進んで取り組み、単位となるものを使うことで広さを数で表せるよさや学ぶ楽しさを感じている。
	B	広さの概念や比較の仕方を理解し、広さを比べることができる。	色や材質を捨象して広さをとらえ、直接比較や間接比較、任意単位を使った比較の仕方を考えたり、説明したりしている。	大きさをくらべのいろいろな活動に進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じている。
●かえますか? かえませんか?	A	1つのものが50円で買えるかどうかの判断をもとに、手際よく2つのものが50円玉2枚で買えるかどうかを判断することができる。	1つのものが50円で買えるかどうかをもとに、2つのものが50円玉2枚で買えるかどうかを考えたり、その根拠に触れながら説明したりしている。	買えるかどうかの見積もりに進んで取り組み、見積もり方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	B	1つのものが50円で買えるかどうか、2つのものが50円玉2枚で買えるかどうかを判断することができる。	1つのものが50円で買えるかどうかをもとに、2つのものが50円玉2枚で買えるかどうかを考えたり、説明したりしている。	買えるかどうかの見積もりに進んで取り組み、見積もり方のよさに気づいている。